

## 合併特例法とは

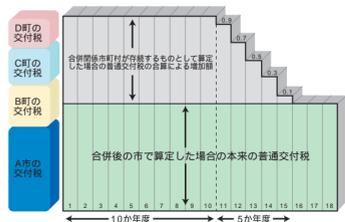
市町村の合併の特例に関する法律（合併特例法）には、合併の障害となる事項を除去し、自主的な合併を推進するため、様々な特例が定められています。なお、この法律の期限は平成17年3月31日までになっています。

### 主な制度や特例

#### ◆財政的な特例

##### ①普通交付税の合併算定替

合併によって国からの普通交付税が激減しないよう設けられた制度です。合併後10か年度は、合併前の旧市町村で算定される普通交付税の合計額を下回らないよう保障され、その後は5か年度かけて段階的に縮減されます。  
※普通交付税とは、市町村が標準的な一定水準の行政事務を行うために必要な経費のうち、地方税などの収入見込額でまかなうことができない財源の不足分を市町村に交付されるものです。



##### ②合併特例債

新市の建設事業に対して、合併特例債を発行して借入が可能となります。この元利償還金の7割が国から普通交付税で措置されます。

**合併特例債の借入限度額 約336億円**  
(うち交付税措置額 約235億円)

#### ◆地域審議会を設置できます

合併の不安の一つとして、行政区域が拡大されることで今までより住民の声が行政に届きにくくなるのではないかと、いうものがあります。そうした不安に対応するために、旧市町村の区域ごとに新市に対し意見を述べる場として地域審議会を設けることもできます。

#### ◆議会の議員に関する特例

新設（対等）合併の場合、基本的にそれまでの議会の議員は身分を失い新たに選挙を行うこととなりますが、定数や在任期間について、特例を適用することもできます。

##### ①定数特例

合併後最初に行われる選挙の際に法定定数上限の2倍まで定数を増加することができます。  
【例】議員の法定定数の上限34人(10万人以上20万人未満)  
定数 34人×2倍=68人以内



##### ②在任特例

旧市町村の議員は、選挙は行わず合併後2年以内は新市町村の議員として在任することができます。  
【例】現在の1市2町の議員数 54人  
(掛川市24人、大東町16人、大須賀町14人)



#### ◆地方税の不均一課税

市町村の独自の財源となる地方税は、原則として同一市町村内で同じ課税をしていますが、旧市町村の間で税率などが異なっていたとき、5か年度に限り不均一の課税を行うことができます。

# あなたは この地域の未来 どう描きますか?

## 海と山と街道の幸の相乗効果

この地域は、北に赤石山系まで続く山地、南は雄大な遠州灘、中央に小笠山など自然に恵まれ、新幹線、東海道線、東名高速、国道1号とバイパス、国道150号といった東海道の大動脈が走り、さらに第2東名の建設が進むなど、主要な交通基盤が充実しています。  
産業面では、1市2町を合わせた製造品出荷額は県内20市中第6位、農業産出額は第3位、年間販売額は第8位に位置しています。  
それぞれの市町の持つ資源を生かし、組み合わせることでより豊かな地域に発展していくことが期待されます。



### 小夜の中山 主要指標

項目	人口	年少人口	生産年齢人口
掛川市	80,217	13,017	52,908
大東町	21,791	3,536	14,159
大須賀町	12,320	1,910	7,776
1市2町の計	114,328	18,463	74,843
市町村	高齢人口	高齢化率	世帯数
掛川市	14,292	17.8	25,121
大東町	4,092	18.8	6,274
大須賀町	2,634	21.4	3,531
1市2町の計	21,018	18.4	34,926
市町村	面積	将来人口	将来高齢化率
掛川市	185.79	85,799	20.2
大東町	46.13	23,035	20.6
大須賀町	33.71	12,406	23.3
1市2町の計	265.63	121,240	20.6
市町村	農業産出額	製造品出荷額	小売業年間販売額
掛川市	123	8,147	932
大東町	55	3,020	168
大須賀町	51	824	93
1市2町の計	229	11,991	1,193
市町村	卸売業年間販売額	小学校数	中学校数
掛川市	865	16	6
大東町	45	5	2
大須賀町	41	2	1
1市2町の計	951	23	9
市町村	高等学校数	大学数	平成15年度当初予算(億円)
掛川市	3	-	300
大東町	-	1	85
大須賀町	1	-	58
1市2町の計	4	1	443

【注】新市の内は、静岡市内の市部での順位  
出典  
1)人口データは、平成12年国勢調査、面積は国土院データ  
2)将来人口及び将来高齢化率は、平成12年国勢調査に基づく  
3)農業産出額は、平成13年農業産出額推計データ  
4)製造品出荷額は、平成13年工業統計データ  
5)小売業年間販売額、卸売業年間販売額は、平成14年商業統計データ

## グラフで見る1市2町の主要指数

(比較対象：同等の人口規模を有する都市及び近隣の法定協議会構成市町村)

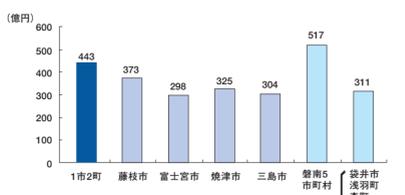
### ■人口は11万超、面積は266km<sup>2</sup>

1市2町の人口は114,328人(平成12年国勢調査)、面積は266km<sup>2</sup>です。静岡市内の人口11万人~12万人前後の都市は、藤枝市(128,494人)、富士宮市(120,222人)、焼津市(118,248人)、三島市(110,519人)があります。



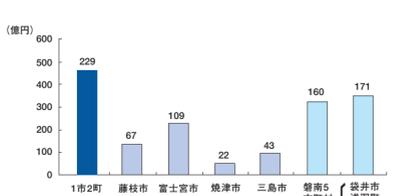
### ■財政規模は443億円に

1市2町の平成15年度の当初予算(一般会計)を単純に合計すると443億円になります。人口規模が類似する県内4都市では約300億円~約370億円の予算規模です。(1市2町が合併した場合の新市の予算は、1市2町の単純合計値になるわけではありません。)



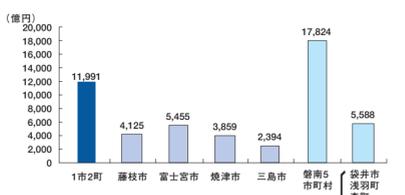
### ■農業は群を抜く229億円

1市2町の農業産出額は229億円(平成13年値)です。人口規模が類似する県内4都市と比較すると、1市2町は大きく上回っていることが分かります。現在の県内20市の中では第3位となります。  
主要農産物別の産出額では、茶(生葉)は59.1億(第2位)、米は22.7億(第1位)、苺は19.5億(第2位)となります。



### ■工業は1兆1,991億円

1市2町の製造品出荷額は1兆1,991億円(平成13年値)です。人口規模が類似する県内4都市と比較すると、1市2町は大きく上回っていることが分かります。現在の県内20市の中では第6位となります。



### ■商業は2,144億円

1市2町の小売業と卸売業を合わせた年間販売額は2,144億円(平成14年値)です。人口規模が類似する県内4都市と比較すると、1市2町はやや下回っていることが分かります。現在の県内20市の中では第8位となります。

